

1 研究主題

伝え合い、学び合う児童の育成

2 研究主題設定の理由

(1) 今日の課題から

情報化社会の中で成長してきた子どもたちは、コミュニケーションのツールとして携帯やゲームを使用することが多い。顔を見て言葉にして自分の意見や感情を伝える機会が少なくなっている。外遊びや異年齢集団の中で自然と培われるはずのコミュニケーション力が不足している。児童の中にも伝えたいことが伝えられなかったり、相手の思いを理解して適切に返すことができなかったりすることが増えている。これからの時代、自分の思いや考えを言語を通して適切に伝えることのできる能力、そして相手の思いや考えを正確に理解する能力を身につけることは重要である。人間関係が希薄になってきている児童に対して、他とかかわりながら学べる資質や能力を身に付けさせたいと考える。

また、本校は来年度に小浜美郷小学校への統合を控えている。現在より集団の規模が大きくなる。その中で、自分の意見をしっかりと持ち、相手に伝えるということがより難しくなると考えられる。児童が自信をもって自己を表現する力、他と協働しながら学習を進める力がますます必要になると考え、「伝え合い、学び合う児童」の育成を研究主題に設定した。

(2) 研究の経過と児童の実態から

本校は、昨年度から、「伝え合い、学び合う児童の育成」を研究主題とし、授業研究を中心に研究を進めてきた。研究主題にある「伝え合う」を『自己の考えを適切に表現し、仲間の多様な意見や考え方を聴き合うこと』、「学び合う」を『子どもが主体となって、思考・判断・表現力を高め、伝え合いの中で自己の能力を発揮しながら、考えを深めること』ととらえ、各教科、道徳科、総合的な学習の時間の中でそれらが向上するよう3S学習に基づいた授業づくりに取り組んできた。

昨年度の成果として、「時間とともにする仕事」がどの学級においても児童主体でスムーズに進められるようになってきたこと、授業の振り返りを書く習慣が身につけてきたことが挙げられる。話し合いにおいて自己の考えを適切に表現したり、学びの過程を振り返り、言語化したりできるようになってきている。しかし、深い学びには至っていないことが課題である。伝え合い、学び合いをより深めていくための教師のコーディネート力や深い学びを得るための手立てや言語化の手立てを工夫していきたい。昨年度までに積み上げたものを継続して実践するとともに、児童が目的意識をもって「考え、伝え聞いて、つなげる」活動に取り組んでいけるような授業実践を行っていきたい。

(3) 児童につけたい力

伝え合い、学び合いを実践するために児童に身に付けさせたい力として、以下の2つの力を設定した。

- | |
|---|
| <p>①話す聞く力・・・自分の考えや意見を話したり、人の考えや意見を聞いたりする力</p> <p>②学びを深める力・・・人の考えや意見を整理、分析し、それをもとに自分の考えを再構築する力</p> |
|---|

これら2つの力を各教科、道徳、総合的な学習の時間の授業を中心として育成していく。そこで、常に2つの力の育成を念頭に置いた授業づくりを研究の柱として取り組んでいく。

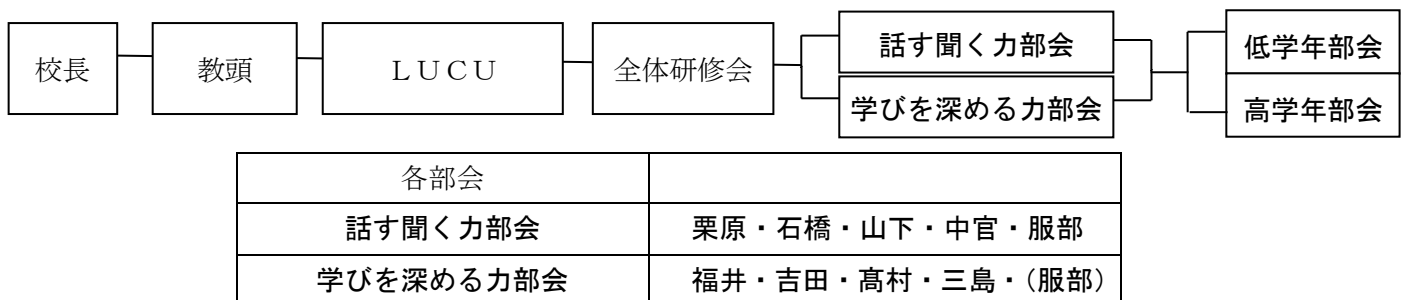
また、伝え合い、学び合う授業の基盤として「集団づくり」「基礎基本の定着」を設定し、教育活動全体を通じて、具体的な手段を講じていく。

3 研究の内容

各教科における2つの力を育てる授業づくり

つきたい力	主な活動内容	具体的取り組み
話す聞く力	(H29年度) <ul style="list-style-type: none"> 児童の具体的な行動レベルを明確にするための評価表を作る。 レベルに応じた授業の組み立てを工夫する。(他者説明、引用、取捨選択など) 	<ul style="list-style-type: none"> 目指す児童像の指標づくり 国語科学習指導要領解説をもとに思い浮かぶ具体的な児童の姿をあげる。「話す」・「聞く」・「話し合う」の3つをそれぞれレベル1・2・3に分けて一覧表にする。 指標のカード 指標をもとに具体的な姿をカードにして掲示。授業による活用。 自己評価 授業後に振り返りカードに4段階で自己評価。
	(H30年度) <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの質を向上させる。 (指標をもとに児童の実態を把握し、質の向上のための具体的手立てを考える。) 教師のコーディネート力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指標のカード 授業による活用。評価の基準の明確化。 自己評価 授業後に行う自己評価をもとにした授業改善。一覧表を用いた個人内カルテ作成。 ビデオによる検証 教師の発話による児童の対話の展開、理解を深める教師の言葉を分析。
学びを深める力	(H29年度) <ul style="list-style-type: none"> 振り返りの方法、内容を検証する。 (自己の学びを可視化する。) 具体的な振り返りを実践する。 (各学年に応じた内容を検討する。) 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りノート 教科のノートに振り返りを記入。 振り返りカード (話す聞く力の指標による自己評価を含む) ※教科、単元を指定して毎時間
	(H30年度) <ul style="list-style-type: none"> 振り返りの方法、内容を検証する。 (児童の対話による深い学びの可視化) 振り返りを生かした課題設定、評価のあり方を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードの作成 国語、算数で話し合いによる概念習得、拡張が期待できる時間に活用。 (単元構成を見据えた授業改善) 児童の評価と授業の評価 次時への課題設定と授業改善

4 研究体制



*各部会アドバイザー：校長、教頭

5 今後の予定

(1) 研修計画

月 日	内 容	月 日	内 容
4月 9日(月)	今年度の研究の進め方について 部会別研修①	9月 3日(月)	特別支援教育 部会別研修③
4月16日(月)	浜教研研究部会①	9月10日(月)	後期指導訪問 教材研究
4月17日(火)	学力調査分析①	9月18日(火)	後期指導訪問 指導案検討①模擬授業
4月20日(金)	学力調査分析②	9月28日(金)	後期学校訪問 指導案検討②模擬授業
4月24日(火)	理論研修「学びの心理学」・3S学習	10月 1日(月)	浜教研学年部会③
5月 7日(月)	前期学校訪問 教材研究	10月 2日(火)	後期指導訪問 指導案検討③
5月14日(月)	前期指導訪問 指導案検討①模擬授業	10月11日(木)	後期学校訪問(5年算数・初任研)
5月22日(火)	前期学校訪問 指導案検討②	10月13日(土)	情報モラル研修
5月31日(木)	前期学校訪問(4年理科)	10月15日(月)	後期指導訪問ふりかえり 校内研究授業(1年)模擬授業
6月 4日(月)	浜教研学年部会②	10月29日(月)	校内研究授業(1年)事後研究
6月11日(月)	前期指導訪問ふりかえり 生徒指導	11月 5日(月)	人権教育
7月 日()	救急法研修	11月19日(月)	校内研究授業(3年)模擬授業
7月 3日(火)	校内研究授業(6年)模擬授業	12月 3日(月)	校内研究授業(3年)事後研究
7月 9日(月)	校内研究授業(6年)事後研究 一学期の反省	12月17日(月)	二学期の反省 部会別研修④
7月20日(金)	部会別研修②	1月29日(火)	学力調査の分析
夏季休業中	理論研修 (嶺南教育事務所 研修講座など)個人	2月 4日(月)	浜教研学年部会④
8月20日(月)	理論研修(嶺南教育事務所 研修講座) 全員	2月12日(火)	生徒指導 教育評価
8月21日(火)	理論研修(嶺南教育事務所 研修講座) 全員研修のふりかえり 生徒指導	2月25日(月)	今年度研究のまとめ

※特別支援研修は、適宜実施予定

※伝達講習(研修講座など)の計画については後日決定。

(2) 公開授業

学年	授業者	教 科	事前研修(教材研究・模擬授業)	授業公開・事後研究	
			月 日	月 日	ファシリテーター
1	栗原	国 語	10月15日	10月29日	高村
2	高村	(初任研)	10月 日	10月11日	
3	福井	道 徳	12月 3日	12月 3日	服部
4	吉田	理 科	5月14日・5月22日	5月31日	栗原
5	山下	算 数	9月18日・10月 2日	10月11日	吉田
6	服部	算 数	7月 3日	7月 9日	山下

※えがお学級については適宜公開授業を実施。

※白川文字学の公開授業：1年 栗原 11月22日(木)

学校教育目標

- いきいき！キラキラ！なかまとともに顔晴る国富っ子
 ○よく考え、すすんで実行する子ども
 ○あたたかい心を持ち、仲よく力をあわせる子ども
 ○健康で明るく、自分のよい点をのびせる子ども

児童の実態

- 学びに向かおうとする雰囲気があり、児童同士の関係が良好である。
- 自分の考えや意見を発表したり友達の意見に感想や質問をしたりすることが苦手である。
- 人の意見を聞かず、自分の意見を主張する児童もいる。
- 目的や場に応じて自分で判断し、行動することがやや苦手である。

研究主題 **伝え合い、学び合う児童の育成**

伝え合う：自己の考えを適切に表現し、仲間の多様な意見や考え方を聞き合うこと
 学び合う：子どもが主体となって、思考・判断・表現力を高め、伝え合いの中で自己の能力を発揮しながら、考えを広げ深めること

(仮説)

話す聞く力、及び、話し合い活動の質を向上し、対話的な授業を展開すれば、相手の意見を尊重した意見交流をする中で学びを深め、伝え合い、学び合う児童が育つだろう。

3S学習に基づいた「伝え合い、学び合う」授業づくり（各教科、道徳科、総合的な学習の時間）

話す聞く力

目指す児童像

意欲的に話し合いに参加し、自分の考えや意見を簡単に分かりやすく話したり、人の考えや意見を聞いて正しく理解したりできる児童

取組内容

- 指標のカードの整理、活用
- 自己評価
- ビデオによる検証、振り返り

学びを深める力

目指す児童像

自他の考えや意見を比較したり、整理・分析したりしながら学びを見つめ直し、自分の考えや意見を深めることのできる児童

取組内容

- 振り返りカードの作成
- 児童の評価と授業の評価

教師の授業力向上

- コーディネート力
- 児童を見取る力
- 教材分析力
- 3S学習についての理解

授業の基盤

集団づくり

- 人権が尊重される仲間づくり
- 縦割り活動の活性化

基礎基本の定着

- 児童の実態に応じたドリルタイム
- 言語活動の充実